

運動会

小坂井西小・4 堀江 結衣

今日は、運動会の練習の日。わたしは、わくわくしてグラウンドに出ました。今年はずつ対勝ちたいと思いました。

先生が来ると、

「今日はリレーの練習をします。」

と言いました。先生が、

「バトンを受け取る時は左手で受け取って、少し間をあけて走りながら受け取るのがこつだ。」

と言いました。そこで、わたしはそのこつを意識してやってみることにしました。いざやってみると、むずかしくて、受け取るタイミングがあまり分かりませんでした。だけど、何回もやってみるうちに、こつが分かりました。それは、相手が今どこまで来ているかを見て、あるてい度近くにきたら前を向いて走ることです。

次の体育のじゅ業の日。今度は、少し位置を変えてバトンを受け取りました。位置を変えてやるのは少しむずかしかったけどできました。これならいけると思いました。

次の練習の日。AとBのチームに分かれてトラックを走ることにになりました。わたしはAチームだったので、Aチームの人たちと順番を決めて走るようになりました。ドキドキして順番を待っていると、ついに、わたしの前の人が走り出しました。わたしのドキドキは最大になりました。でも、相手をちようど良いきよりぐらいにな

るまで見て、相手を信じ、前を見て走り出しました。バトンを左手で受け取って、右手に持ちかえて、なんとか走り切ることができました。わたしは、チームの後ろの子たちをおうえんしながら、全力でがんばってほしいと思いました。

今度は、つなりの練習をすることになりました。こつは、しぜいを低くすることなので、わたしは少ししぜいを低くして引っぱりました。そして、チームで作戦を考えました。力が強い人は一番後ろで引っぱることになったので、わたしは一番後ろで力いっぱい引っぱりました。そして、結果はわたしたちのチームが勝ったので、わたしはうれしくなりました。

休み時間に、みんなでつなりを練習することになりました。一組と二組の子もまざって、学年みんなでいっしょに練習しました。相手の力が強かったけど、一生けん命引っぱりました。毎日、毎日、練習しました。放課に練習すれば、その分強くなれると思って練習しました。クラスのみんなもやってくれたから、毎日続けられたと思います。わたしは、自信をもって本番のつなりができそうだと思います。そして、また練習で勝ってうれしかったです。チームで作戦を練ったからうまくいったのだと思います。だから、本番もこの作戦でいこうと話合いました。その作戦は、自分のつなが負けそうになったら、他のところを手伝うという作戦です。そして、かけ声を決めてみんなでそれを言う作戦です。かけ声のおかげで、息を合わせられたから勝ったんだと思いました。少し本番の日が近づいてきてドキドキしました。

本番の日。わたしはドキドキして4年生の種目を待ちました。そして、ついに4年生のリレーが始まりました。きんちようしてすわ

りながら、わたしは自分の番を待ちました。ついに、自分の番がきました。ドキドキしながらスタート地点で待ちました。わたしはちらちらとバトンを持って走っている子を見ました。前の子がどんどん走ってきます。そして、ついに、わたしは走り出してバトンを受け取りました。コースの線ぎりぎりを一生けん命走りました。心ぞうの音がドッドツとなっているのが分かりました。わたしはうでをふり、やっとゴールまで走りぬけました。うれしかったし、走っている時、風が気持ちよかったです。そして、後ろの子たちを一生けん命おうえんしました。結果は負けだったけど、一種目終わって安心しました。

次の種目のつなとりが始まりました。わたしは思いつきり引っぱりました。一本目を勝って、二本目のつなに向かいました。また思いつきり引っぱりました。少し手がいたかったけど、しせいを低くして、かけ声を合わせて引っぱりました。何度も引っぱりました。そして、やっとゴールまで引けました。気づくと、わたしのチームは勝っていました。すごくうれしかったです。

どんなことでも、努力すれば、それが実力になって成長できることにつながることが分かりました。だから、努力は大事だと思いました。自分をがんばらせる力になるなと思いました。